

## 意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年3月18日

### 1. 意見陳述申込者

氏名 \_\_\_\_\_ 年令 54歳 性別 男

住 所 中川郡美深町

### 2. ご 意 見

左岸の美深橋の上流では遊泳、右岸の美深川の出口ではうぐい釣りによく遊んだものです。

平成の時代になって、また遊び場として天塩川が見直されてきました。

観光イベントとして「天の川下りイカダコンテスト」が過去15回の開催され、そしてカヌー愛好者が天塩川を最適な河川として大会等を開催し、道外からも多くの愛好者が訪れていると聞いております。

数年前に河川敷が整備され、美深橋上流右岸は美深橋親水公園として町民の憩いの場になり、また、恵深橋上流右岸はカヌーポートとして、いずれも広々とした駐車場のある立派な公園になっています。

私は仕事上、直接観光イベントに携わる立場にありますが、河川敷整備のおかげで事業遂行が大変スムーズになりました。以前は、まず草刈から始めたものです。

イカダのスタート、ゴール、重機による吊り上げ作業などもより安全に行えるようになり、初めて人にも安心して参加していただける観光イベントととしてPRしております。

さて、このイベントで最大の難問が水量です。8月の第1日曜日に実施しますが、この時期は例年水量が大幅に減少しています。

恵深橋から美深橋まで5km間は浅瀬も多く、イカダが座礁して人が

引いたり押ししたりする光景もしばしば見られます。そのことも楽しみのうち、ともいえますが、逆に大雨増水でイベント中止となったこともありました。

そんな時思うのがダムによる水量調節です。増水時はともかく渇水時は岩尾内ダムで放流してもらえれば、などと勝手に考えています。

観光イベントのために貴重な水資源を使用するなどとはどう考えても無理だろうな、と思います。

素人考えでは、このイベントのためにどの程度の放流が必要なのか、まったく想像が付きません。

ただ、新たなダムが建設された場合、可能性がでてくるのでしょうか。

天塩川流域の市町村は重要な観光資源として、生活文化の向上のため活用できることを期待していることと思います。

さらに安全で利用しやすい河川整備を願っています。